

学習指導案（商業）

久慈東高等学校

教諭 戸塚 敏彦

1 日 時

平成18年11月9日（木） 4校時

2 対象クラス

3D(2) 3年次24名

3 場 所

第1情報処理室

4 使用教科書

文書デザイン 一橋出版

5 単 元 名

第3章マルチメディアの活用

第2節 動画像の利用

5 動画像の加工

6 対象クラス

対象生徒は3年次情報ビジネス系列の生徒です。3Dグループ、自由選択科目であるこの科目を49名の生徒が履修しています。コンピュータ設置数の関係で2つに分けて授業をしています。生徒を見ると、興味を持って学習に取り組んでいるのが見られます。本校では商業に関する科目の開設講座数が多く、職員定数等の関係でチームティーチングを実施することがほとんどできません。いかに効率的に授業を実施できるかが課題になっています。そのため、コンピュータ授業支援ソフト、スカイメニュープロを使って、スライド等を画像送信し、生徒がその教材を見比べながら作業ができるよう進めていきます。

7 単元目標

動画像データの種類や特徴について理解させ、そのデータの取り込みや編集といった実習を通して技法を習得させる。

8 指導計画

第3章マルチメディアの活用 全5時間

第2節 動画像の利用

1 動画像の仕組み	}	1時間	11月1日
2 動画像の種類			
3 動画像の撮影	}	1時間	11月8日
4 動画像の取り込み			
5 動画像の加工	}	2時間（11月9日3、4校時）	1時間（11月22日）

9 評価

評価規準	評価 A	評価 B	評価 C	評価方法
関心・意欲・態度	動画像の編集や加工の操作方法について、進んで理解しようとしている。また、実践的に活用しようとする態度が見られる。	例題の編集や加工の操作方法についてひと通り理解できる。また、実習問題に活用できる。	指導助言を得て、例題を完成することができる。	例題への取り組みや実習問題の完成度
思考・判断	実習問題で担当者の指導を必要とせず、自ら思考を深め、また創意工夫がみられる。	例題で学習したことを利用し、さらに自らの工夫を担当者の助言を得ながら取り入れるようとする。	例題で学習した編集や加工のみを利用している。	実習問題
技能・表現	実習問題に対し適切な作業をし、内容にあった表現をしている。	実習問題が完成し、内容に沿った表現が見られる。	実習問題が完成していない。 内容に沿わない表現が見られる。	作品完成度 生徒の相互評価
知識・理解	学習単元の知識や技術を習得し、その内容を実習問題等で指導助言なしで十二分に活用できる。	学習単元の知識や技術を習得し、その内容を実習問題等で指導を得ながら活用できる。	知識や技術を完全に習得できず、個人指導が再度必要である。	実習問題 定期考査

学習指導案

科目 文書デザイン
 日時 平成18年11月9日(木) 4校時
 対象クラス 3D(2) 3年次24名
 場所 第1情報処理室
 使用教科書 文書デザイン 一橋出版
 単元名 第3章マルチメディアの活用 第2節 動画像の利用 5 動画像の加工
 目標 動画像の加工方法について理解する。
 担当者 教諭 戸塚敏彦
 展開

	学習内容	学習活動	評価の観点・留意点
導入 5分	出席確認	前時までに実施した動画について確認する。	スカイメニューを利用して出席確認をする。
展開 43分	編集方法 ・タイムラインへのビデオクリップの追加 ・ビデオクリップのトリミング ・ビデオクリップの分割・削除 ・ビデオクリップ間に切り替え効果を設定する ・タイトル、クレジットの設定	実習例題完成作品を提示する。 実習例題を利用して、ムービーマーカー2の操作方法を理解させる。 (スカイメニュー内にある縮小表示を利用して生徒も同時に作業する) 実習 前時までに撮影した動画像を選択させ、どのような作品にするか大まかな構成をさせる。 (別紙プリントを利用する)	<関心・意欲・態度> ネットワークを利用してファイルを取り込む 進捗状況はスカイメニューを利用して確認する。遅進者には個別に対応する。 <思考・判断> <技能・表現>
まとめ 2分		次時の作業について連絡する	

<技能・表現> 生徒同士の相互評価と<知識・理解>については11月22日の時間で評価する。